

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称： 一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市下之条 804-39
評価実施期間： 令和3年8月1日から令和4年1月24日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載）  050431、B16033	

### 2 福祉サービス事業者情報（2022年1月現在）

事業所名： （施設名） 明星保育園	種別： 保育所
代表者氏名：園長 山内 ひろみ （管理者氏名）	定員（利用人数）： 120（133）名
設置主体：社会福祉法人明星会 経営主体：社会福祉法人明星会	開設（指定）年月日： 昭和37年2月10日
所在地：〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3928 番地	
電話番号：0265-24-8020	FAX 番号：0265-24-8008
電子メールアドレス：myoujou-408@juno.ocn.ne.jp	
ホームページアドレス：http://myoujou-hoikuen.com/	
職員数	常勤職員： 25名 非常勤職員 10名
専門職員	園長 1名 保育士 5名
	主任 1名 保育補助 3名
	保育士 17名 調理師 1名
	栄養士 1名 代替保育士 1名
	調理師 2名
	事務 3名
施設・設備 の概要	（居室数） 保育室 7 砂場
	遊戯室 ここにこ山
	医務室 未満児用大型遊具
	調理室 雲梯
	事務室 鉄棒
	調乳室 2 あずま屋
	幼児便所 避難滑り台
	 災害機材倉庫

### 3 理念・基本方針

#### 【保育の理念】

1. 健やかな身体を育み、個性を尊重され、ありのままの自分を受け入れられるという経験を積む中で、人生の礎となるその人らしさの基盤を作る。
2. 保護者が就労と子育てが両立できるように、物理的にも精神的にもサポートする。

#### 【保育方針】

1. 乳幼児期でないと経験できない学びを十二分に体験する。
2. 実体験を通して様々なことに興味を持ち、主体的に取り組み、工夫し、粘り強くチャレンジする気持ちを育てる。また、子ども達の試行錯誤する時間と空間のゆとりを保障する。
3. ありのままの個性を受け入れられ、人から大切にされ、尊重される経験を通じて、人を思い人のために役立ちたいという気持ちを育てる。
4. 地域の人々、障がいのある人々との交流を通じていろいろな人との関わりを持ち、様々な生活があることに思いを寄せることができるようにする。

### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

だれもが安心して暮らせる社会でありたいと願い、保育理念の下インクルーシブな保育を目指しています。すべての子どもが頼り合い、ぶつかり合い、教え合う生活の中から多種多様性を認め、一人一人の違いを幼少期であるこの段階で知り、それに対応する能力を身につけることで、将来的にこの子等が生きていく社会を自分たちの手で変えいくことを託したいと考えているからです。そのためには、子どもの多様性を尊重する大人の存在として、保育者にも多様性が求められるはずで、年齢やキャリア重視ではなく、得意分野での能力発揮と、お互いが苦手なことを助け合う思いやりの職員集団であり続けたいと思っています。また、保育園は全職員で作り上げていくという信念から、さらなる成長のためにそれぞれが自分を磨き続ける努力をしています。

#### 1. 具体的な特徴ある取り組み

- (1) 0歳児(4カ月)から就学前の養護と教育の一体的展開の保育を行います。
- (2) 同年齢によるクラス保育を基盤としながら、異年齢の交流も行います。
- (3) 年間を通じ、様々なシーンで自然と触れ合います。
- (4) 外部講師によるリトミック、運動遊び、絵画教室は、専門的な視点からのカリキュラムにより実施します。
- (5) 知的障がい者施設“明星学園”の利用者さんとの交流を通して、多様性を認め合います。

#### 2. 保育環境は、子ども目線で整える

- (1) 限られたスペースの中で、子ども達が自分の空間を見つけ、落ち着いて過ごせる場所作りをサポートします。
- (2) 子どもがいつでも休息できる場所を用意します。
- (3) 子ども自身が自由に主体的に遊べるよう、育ちに応じ選択できる環境や玩具を準備します。

- (4) 子どもの感覚を大事にし、子どもが好きな色や素材を選べるように用意します。
- (5) 落ち着いた雰囲気づくりに努めます。

### 3. 保育方法

- (1) 子どもの立場に立って考え、行動に移します。
- (2) 子どもの目線に立ち、子どもの思いをしっかりと受け止め、子どもの言葉に耳を傾けます。
- (3) 一人ひとりに丁寧に、ゆっくり、ゆったりと接します。
- (4) 子どもの性差や個人差、個性を肯定し、留意して接します。
- (5) 指示、命令、強制的な言葉は使いません。
- (6) 子どもの感じ方や考えを積極的に受容します。
- (7) 子どもに対して一方的に自分の考えを押し付けたり、働きかけたりするのではなく、子どもの思いを感じ取ります。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	1 回（平成 17 年度）
---------------	---------------

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◇特に良いと思う点

明星保育園では、園長を中心として職員全員の皆さんが、自園の保育に熱意と情熱をもち、「子どもを主体としたよりレベルの高い保育」を目指し、チーム一丸となり、組織的取組が行われていました。その中で、特に良いと思う6点について記述致します。

(1) 地域との関係を重視した保育活動が組織的に展開されていました。

○地域に根づいた子育て支援の専門的機関として、保育を必要とする家庭への預かり保育の実施を行い、育児サポートが行われていました。また、未就園児交流、療育相談、園庭開放等コロナ禍ではありませんが、工夫し地域との交流事業が実施されていました。

○その他としては、中・高校生を対象としたサマーチャレンジボランティア、職業体験交流、地域デイサービスセンターとの交流事業、高齢者と和太鼓を通じた交流、田植えや畑作業での交流等が行われ、地域との関係を重視した保育活動が行われていました。

(2) 外部専門講師の参加による保育活動の充実、支援計画の作成が図られていました。

○保育園の特色の一つとして、専門的知識を持つ講師（美術、音楽、運動）による保育活動の充実が行われていました。子ども達が遊びの中で、体の使い方や、豊かな感性と想像力を発揮し表現することの楽しさを味わえるよう、「絵画活動」「リトミック」「運動遊び」等子ども主体の活動を盛り込んだ保育活動が行われていました。

○子どもの支援計画の作成におけるアセスメント段階で、外部講師の方にも関わって頂き、専門的知識を取り入れた個別支援計画の作成内容となっていました。

(3) 「信州やまほいく認定園」として、子どもの自由遊びの中で、やりたいことが伸びのびできる保育の実践が行われていました。

○信州の自然を生かした体験型保育の中で、異年齢保育で行う「畑プロジェクト」として、畑体験をおおして協力する事や思いやりの大切さ、『食』への関心や自然の恵みへの感謝等を感じられる取り組みが行われていました。

- 地域の中での散歩を積極的に行い、野山の草花や小さな生き物たち（カエル、カマキリ、昆虫等）との関わりの中で、「命あるものとの付き合い方」を学ぶ活動が行われていました。
- やま保育の中では「水・土・火」の関わりを重視した活動となっていました。例えば雨の日の散歩は「水」焼き芋は「火」畑や田んぼの活動は「土」を感じられる体験を大切にしていました。
- (4) 子どもの発達段階や状況に応じた「子ども主体」の保育活動が行われていました。
- 畑体験やお米作り、散歩等を通して、地域の方々との関わりの中での学びや、それぞれの発達段階に応じた子どもの気付きを大切にすることで、一人ひとりの子どもの個性を伸ばし自主性を育む、きめ細かい保育の実践が行われていました。
- 子どもの「自由遊び」「異年齢とのかかわり」の中で、自立心やお互いを大切にする心が持てる保育の取組が行われていました。また、自分自身の意見や考えを言える子どもが多く育っていました。
- (5) 職員の良いコミュニケーションと信頼関係づくりを大切にした、適切な保育環境の整備が図られていました。
- 年齢・経験的にも幅広い職員が働いていますが、日常的な職員間のコミュニケーションが円滑かつ良好にとられ、職員の信頼関係がしっかりとできていました。また、お互いが学び合えるような環境が整っていました。
- クラス担任の職員構成も、経験の長い職員と短い職員を組み合わせる配置することによりOJTやお互いのカバーができやすく、より良いコミュニケーションが取れる体制ができていました。
- (6) 「食育」を重視し、そのための環境整備に取り組んでいました。
- 保育の5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）を構築する上で、食育との関係性は重要であることを認識し、職員一人ひとりが課題意識をもって栄養士や調理職員との連携の中で食育活動が行われていました。
- 保育士と栄養士による「食事検討委員会」が定期的で開催され、子どもの状況に合わせた、楽しくおいしく食べられる食事の提供がされていました。また、離乳食やアレルギー食に対しても、きめ細かい対応が図られていました。

#### ◇特に改善する必要があると思う点（期待する点）

- (1) コロナ禍により一層の対応の充実をお願い致します。
- 長く続く社会のコロナ感染に対して、保育園としても様々な対応が図られていますが、地域交流、ボランティアの受け入れ、実習生の受け入れ等、地域との関係につきましては、どうしても制限せざるを得ない状況があります。しかしながら、飯田市産業振興課や地元の高等学校と連携しキャリアガイダンスとして、リモート授業を行う等の積極的な計画をしており、保育士という職業に魅力を感じてもらえるように努力を重ねている貴園に今後も期待致します。

#### 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添1）
- ・ 内容評価項目（別添2）

#### 8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

#### 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）